



242

小学校4～6年生向け

年組

さを伝えたい」とし、増加する国内のインバウンド（訪日客）需要に対しても「県に足を運んでもらうきっかけになるはず」と期待する。

2024年11月27日付・下野新聞24面

県内伝統工芸

インテリアちょうちん

魅力を海外に

真岡の「わたや」

市場開拓、LAで展示販売

【真岡】荒町の節句人形・ちょうちん専門店「わたや」は米国・ロサンゼルスで今月から、鳥山手すき和紙と大谷石を使った「インテリアちょうちん」の展示販売を始めた。現地在住で、海外に県の魅力を発信する「どちぎアンバサダー」の田崎敏弘さんとの縁で販売に結び付いた。新たな市場を開拓するとともに、県内の伝統工芸の海外への周知を図る。（田口雅也）



①インテリアちょうちんを手にする西村専務②米国で展示販売しているインテリアちょうちん

【言葉の意味】

- ・米国…アメリカのこと
- ・需要…欲しい、買いたいという動き

設問

【1】見出しにある「LA」とは、何を省略したのですか。リード文の中からさがして答えましょう。

【2】展示販売が始まった「インテリアちょうちん」についての説明文を次のようにつくりました。文中の（ ）に当てはまることばを答えましょう。

・インテリアちょうちんは、（ ① ）と筒形の2種類で、（ ② ）に鳥山手すき和紙、（ ③ ）に大谷石を用いている。内部の（ ④ ）ライトは、リモコンで電源操作ができる。

【3】記事に出てくる「節句」とは、昔から季節の節目に当たる日とされていて、願いごとやお祈りをする日だそうです。1年間に5回の「節句」がありますが、知っている節句の名前を書いてみましょう。また、それは何月何日なのかも答えましょう。

（答え方：〇〇の節句、〇月〇日）

【4】本文の内容から分かるこ

子どもの成長を祝う節句人形などを扱う同店は、昨今の少子化の影響を大きく受けてきた。新たな市場の開拓を模索する中、以前から交流のあった田崎さんの「県内の伝統工芸をもっと盛り上げたい」との思いに賛同。「店の技術と掛け合わせて、より多くの人に県の伝統工芸を

知ってもらおう」と初の海外販売を決断した。インテリアちょうちんは球形と筒形の2種類で、明かりを覆う火袋に鳥山手すき和紙、台座に大谷石を用いるなど、県産の伝統的な素材にこだわらる。コードレス仕様で、内部の発光ダイオード（LED）ライトをリモコンで電源操作できる。筒型は色や素材感の異なる8種類がある。

興味を示した、現地で日本の雑貨類などを販売する「AZOOS JAPAN」で来年1月までの3カ月間、展示販売を行っている。海外への輸送コストや、為替変動による価格設定の難しさなどに苦慮しながらも、県伝統工芸品の海外進出の足がかりとなるよう奔走する。

とで、「わたや」さんが苦労していることはどんなことでしょうか。二つ選び、記号で答えましょう。

ア インテリアちょうちんをアメリカまで運ぶときに、こわれやすいこと
イ 大谷石が手に入りにくいこと
ウ アメリカまでの輸送費がけっこう高いこと
エ アメリカの人に、ドルで売る時に、いくらで売るか決めること

【5】この記事を読んで、新たな発見や感想などを自由に書いてみましょう。

出題・監修は県小学校教育研究会社会部会・阿部浩明茂木町逆川小教諭